

25

飲料・たばこ・飼料製造業

ものづくり技術

一般型

設備投資のみ

株式会社 川原茶業

代表者 川原 秀清

住 所 〒849-1411

佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲2551

連絡先 TEL 0954-66-2166 FAX 0954-66-5551

http://www.nabeshimahan.jp

資本金 1,000万円

設立年月 平成2年4月

従業員 5人

海外需要に向けた『嬉野茶』
販路拡大を支える茶成分分析計の導入

近年、茶業界は国内需要が減少傾向であるのに対し、日本茶の輸出金額は品質の高さや機能性が評価され、年々増加傾向にあります。

国内の需要低下に伴い当社を含む嬉野でも、海外での販売に向けて早くから取り組んでおり、近年では海外の大都市のスーパーマーケットで日本茶の取り扱いがある店も増えてきていますが、海外で日本茶の売れ筋商品名が『Green Tea』や『Japanese Tea』であり、日本のように産地を区別して(静岡茶、宇治茶、嬉野茶、八女茶等)販売するのは難しいのが現状です。



代表取締役

かわはら ひできよ

川原 秀清



本事業への取り組みの経緯

国内では知名度が低い『嬉野茶』でも海外ではブランド力(知名度)に関係なく販売できるので、チャンスであると考えており、そのために海外のバイヤーとの商談は積極的に行っていますが、お茶の生産方法(茶樹の育成や加工技術等)や品質の違い等を伝えるべく、近年ではお茶の説明をする際に茶葉を数値化して目に見える形で要求されることが多くなってきました。それを具現化するために成分分析計の導入を決意しました。

実施内容

➤ の度の補助事業で『茶成分分析計 GTN-9』を導入しました。成分分析計では中国語と英語に変換が可能で今後は海外輸出用の茶葉を全て数値化し目に見える形で商品説明を行うことができるようになりました。また、販売においては茶葉を数値化(AFスコア)することで他社との差別化ができ、より効率よく茶葉の説明ができるようになりました。

Q1. AFスコアとは？

A. 茶葉に含まれるアミノ酸量と繊維質の割合で計算されています。AFスコアが高ければ高いほど旨味のある高品質の茶葉と判断されます。



取組成果・波及効果

本事業の成果として茶成分分析計GTN-9の導入を行い茶葉を数値化し、海外向けの茶葉の基準値を決めることで他産地の茶葉と区別化することができました。また、今後はそれを基に佐賀県JAや茶生産農家さんと情報を共有し、県内の荒茶生産量を増やすため、海外向けの茶畑を拡大し茶葉の生産拡大を行っていきたいと考えています。現状、海外市場では中国茶が低価格で販売されており、国産茶葉の海外輸出においても、産地間の区別がなく、『Green Tea』は価格勝負になってしまうため、茶葉に基準値を決めることにより価格競争にとらわれず、日本製の高品質の茶葉を差別化し輸出することを目指します。



今後の展望・活動予定

今後は海外見本市(中東やアジア、北米等)、日本で開催される国際見本市(フードジャパン等)への出展などを考慮し販売量の増加を図りたいと思います。また、ジェトロ佐賀の協力により海外食品見本市(アメリカ Winter Fancy Food Show)への出展のほか、UAE・ドバイにて現地企業と共同で今後も引き続きGulfoodへ出展し、新たにブラジルに向けて茶葉の輸出や見本発送等を行い、少しずつ販路を拡大していく方針です。

ホームページを
CHECK!